

第10回 「冬鳥」 地域のたから 自慢の逸品

珍重された冬鳥

冬の訪れとともに、宮城県には白鳥や雁など渡り鳥がやってきます。江戸時代、仙台藩領に渡来した冬鳥は狩りの対象となり、藩主から將軍や大名、親族や家臣への贈答品とされてきました。

江戸へ運ばれた白鳥・雁・鴨・菱食・鶴は、高級な食材として珍重され、冬の旬の味覚であったと考えられます。なかでも白鳥や鶴は超高級食材として、大名家の公式行事には欠かせないものでした。伊達家の正月料理の献立の中にも、白鳥の吸物が登場します。

新年最初の狩り 野始

代々の仙台藩主は鷹狩りを好み、仙台滞在中は頻りに、城下近郊から遠方まで、領内各地に出かけています。そうした狩りの中でも、藩主が在国の年の正月三日に、城下東方の岩切から松森周辺で狩りをする「野始」は、大規模に開催される特別な行事でした。

宝暦九年（一七五九）、七代藩主伊達重村の野始は、銃や弾薬、弓や鎗など武器を持つ者、旗や挟み箱、床机など道具を担ぐ者、隼・大鷹各一〇羽に鷹匠や御指、騎馬など総勢約五〇〇人の行列が、狩装束の重村と共に、仙台城から岩切へ向けて出発。案内（宮城野区東仙台）に着くと、家臣の一騎打ち（模擬演習）を観覧し、それが終わると足軽が鳥銃を一齐に発射、そこから岩切橋まで進みなが

● 仙台市博物館 学芸員 水野沙織

ら武頭や足軽、勢子など二〇四一人を三二隊に分けて雉を追わせ、獲らえた者には褒美を与えています。その後は、近くの村で鷹狩りを楽しみ、松森の野陣で一門以下の奉賀を受け、仙台城に戻っています。

野始の行事は戦のない時代に、家臣の軍事演習の意味があったとされています。

ところが、江戸時代後期の仙台藩の公式記録を見ると、二代・斉邦治世中の天保五年（一八三四）、天保一〇年には、凶作や儉約のため野始を中止しています。天保年間、寒冷による凶作が相次ぎ、仙台藩領の人々は飢饉に苦しみました。斉邦は自ら質素儉約を貫いた人物として知られていますが、仙台藩の諸事を一〇万石の格式で行うことや、天保一〇年の参勤交代を四月から九月に延期するなど、藩の経費削減を積極的に行いました。大規模な野始の行事は、藩財政や家臣に大きな負担をかけていたようです。

天保一四年、慶邦が藩主となって初めての野始は、六〇〇人を越える家臣が動員され、盛大に行われました。恒例の雉狩りには一九八七人が参加し、一一九羽の雉を捕まえたそうです。しかし、安政元年（一八五四）、文久二年（一八六二）は儉約を理由に野始は中止され、以後開催されることなく、明治時代を迎えました。

正月の楽しみとして

明治時代に慶邦が著した『やくたい草』では、

「正月三日は不成就日として、世間では忌む日であり、また年始で寒さも耐え難いけれども、（野始を）婦女子も老人も嫌がらず、むしろ率先して見物に訪れ喜んで」と、野始が真冬の行事にもかかわらず、老若男女に歓迎されていたことを伝えています。

また『参詣記』の筆者で国分町紙屋の手代・佐吉は、店の仲間と一緒に案内まで行き、一騎打ちの様子を見物しています。大正時代に小西利兵衛が著した『電狸翁夜話』にも、行列を目当てに集まった人々は、道の両側に列を作って見物していたことが記され、その盛況ぶりをうかがうことができます。

仙台藩の公式行事であり、武術訓練の目的で行われた野始は、多くの人々が城下や領内から集まる、正月の人気イベントとして定着していたのです。



藩主とその前後の行列の様子
「安政四年御野始行列図巻」(仙台市博物館蔵)

第30回 仙台市史講座

住まいと町並みの仙台近代史

—明治・大正の建築遺産より—

明治・大正期に仙台の中心部に建てられた近代建築から、当時のまちの姿を探ります。

日時：平成27年2月14日(土) 13:30-16:00

場所：青葉区中央市民センター

- 入場無料 申込制(定員：100名) 応募多数の場合は抽選
- 講師：大沼 正寛氏(東北工業大学准教授)
- 川后 のぞみ氏(仙台市文化財課)



戦前の勾当台付近(仙台市博物館蔵)

※聴講ご希望の方は、往復はがき住所・氏名・電話番号を明記し、仙台市博物館「第30回仙台市史講座」係まで。
※1名につき1通の往復はがきでお申込みください。 ※申込期間：1/1(木)～1/31(土) ※切当日消印有効

仙台市史



通史編/2,858円(税別) 資料編/3,810円(税別)
特別編/5,714円(税別) ※板碑のみ4,762円
1冊ずつお求めになれます。

県内主要書店で販売中です。
配送をご希望の方は電話・FAXで(宮城県教科書供給所へ)お申込みください。

発売元/宮城県教科書供給所
〒983-0034 仙台市宮城野区扇町一丁目6-3
TEL:022-235-7181 FAX:022-235-7183

好評発売中

仙台市博物館は、館内改修工事および国連世界防災会議開催にともない
12月1日～2015年3月末(予定)の期間、休館いたします。
※再開時期については、博物館ホームページ・市政だより等でお知らせいたします。
〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地(仙台城三の丸跡) TEL:022-225-3074 仙台市博物館 SENDAI CITY MUSEUM
http://www.city.sendai.jp/kyouiku/museum/